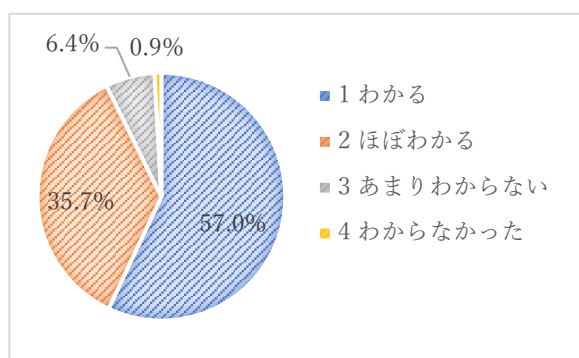


9月26日 visionary walker 育成事業講演会

- 1 日時 令和5年9月26日
- 2 場所・時間 静岡県立浜松南高等学校 第一体育館 14:45～16:05
- 3 対象者 第1学年
- 4 講師 医療機器ベンチャーキャピタル創設者 池野文昭 氏
- 5 研修の目標 大学での学びの後、経験に基づく地域での課題解決の取り組みから広く社会的課題に関わる方の講演を聞き、「明快なビジョンを持って歩む人」の姿勢や考え方のヒントを得る。
- 6 題名 へき地医療からシリコンバレーへ！浜松を飛び出し22年、今だから言える若き皆様へのアドバイス。

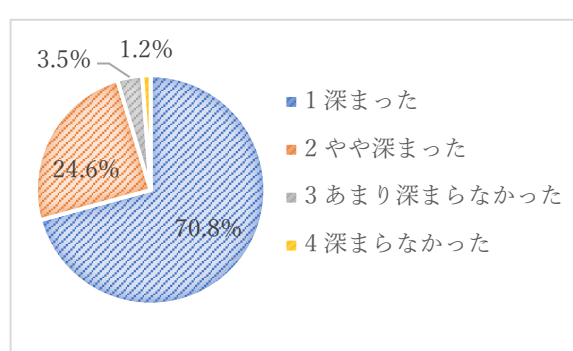
7 事後調査

講演の内容の難易度について、どう感じましたか。



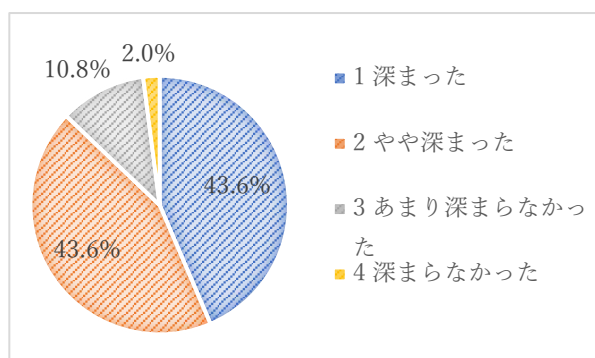
「わかる」「ほぼわかる」が92.7%であり、内容の難易度は適切であった。

講演の内容（共感すること・イノベーション）について、関心を持つことができましたか



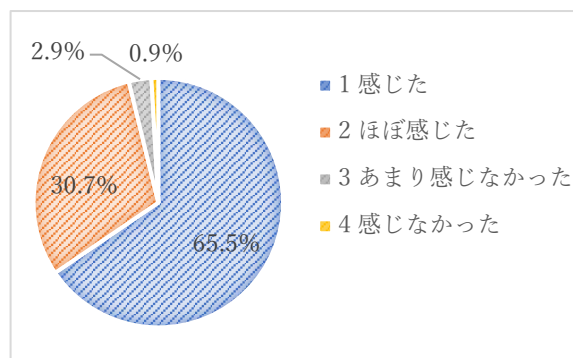
「深まった」と回答したものが70.8%あり、講演内容は、適切であった。

自身の進路選択について、考えを深めることができましたか



「深まった」「やや深まった」合わせて87.2%の回答があり、今後の進路選択に役立つ講演であった。

講演は、何らかの形で、志を育てる糧になると感じましたか。



「感じた」「ほぼ感じた」合わせて96.2%であり聴講した生徒にとって有効性の高い講演会であった。

○生徒の記述意見

・何か既に行われていることに自分も挑戦することになった場合には、どうやったら差がつくのかを考えるのではなく、あらゆる違いを見つけて実際に行動に移すことが重要ということが知れて、とても参考になりました。

・将来を考えるに当たって今の生き方をどのように自分をグローバル化させるか、考え方をポジティブ化し、違いを作っていくかという生き方の例（講話）が参考になった。

・今までは行動に移すのが怖かった。将来の自分と比較したときほんとうまくいくのかなど。私の夢は人工知能を使って沢山の人を助けることだ。それは街を白杖をつきながらあるいてるひとをみかけたときからだ。もうすでに Empathy していたのだ。だから失敗を恐れるのではなく「助ける」ということを大事にしつつ学問に励んでいきたいと思う。

・今回の講演で、Sympathy(同情)と Empathy(感情移入・共感)の違いがよくわかりました。馬鹿にされたり、失敗したりしてもいいから行動に移してみることがとても大切だと思いました。

・行動を起こさなければなにも起こらないし、自分が思ったことを貫き通す凄さを知ることができてとても楽しかったです。

・人の命を超える大切なものはないということを池野先生の体験談からよく理解することができ、勇気を出して何かをすることに踏み切るためにどういった心構えをするべきかが分かった。

・なにかに挑戦するとき、今までは周りの目を気にし、行動に移すことができないことが多々ありました。しかし、今回の公演を聞いて、少し、勇気を持つことができたと思います。

・人生の中で失敗を恐れるのではなく、勇気を持って挑戦することが大切であることを知った。

・行動したことによる周りの評価を気にせず、自分の意志で行動したというところと、日本のことを一生考えるというのを、自分の中だけで完結せずに今の若者に伝えて託すという形を取ったのが、考え方として参考になった。